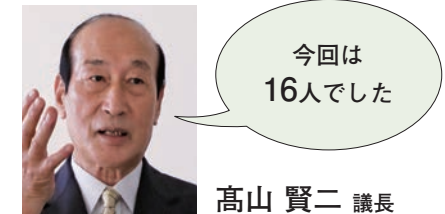


# 市政を問う!

## 一般質問という議員主導の政策論議



今回は  
16人でした

議員が市長や教育委員会などに対して、市政全般の執行状況や方針等を問うたり、説明を求めたりしました。

### 基金で購入した債券の下落額は

**答弁** 債券の時価は3割下落し、含み損は約23億円である



基金の運用状況は、約78億円、額面と時価の差である含み損は約23億円である。債券運用の理由は、預金より利息を得やすく、銀行破綻時のペイオフ対策のためである。財政状況の説明は極めて難しいが、必要性は感じている。少なくとも債券運用の状況を示す必要がある。市長選挙前に説明会をするかは未定。



▲福津市の財政運営は大丈夫か

### 竹尾緑地の位置づけと年間整備費は

**答弁** 環境保全を目的とした都市公園緑地で、委託料は980万円



竹尾緑地は大型施設等が近くにあり、駐車場もある。敷地もある程度大きく、人を呼び込める環境にあると考えられている。現在は、自然環境保護の教育活動の場所として利用されているが、一般利用を増やすプランは考えていないのか。



▲日曜日の竹尾緑地

### 軟骨伝導イヤホン導入で窓口対応しては

**答弁** 難聴者に有用性の高い機器であり前向きに検討したい



社会的な高齢化に伴い、難聴者が年々増加している。本市窓口では、難聴者に対して筆談で対応しているが、かなりの時間を要している。近年、衛生的で安価でもあり、聞こえの良さも良好な軟骨伝導イヤホンを設置する自治体が増加している。導入した自治体職員からは、意思疎通が円滑になり、対応時間の短縮につながると好評である。本市でも、導入してはどうか。



▲軟骨伝導イヤホンが設置されている他自治体

### 基幹産業としている農業の今後の施策は

**答弁** 農業振興、農地の保全、地域農業の意見交換などを実施予定



現在、作成中の農業振興地域整備計画はいつ完成か。その進捗状況は、令和3年度から実証実験をしているスマート農業の現状は。また、他の作物にスマート農業を導入しないのか。



▲スマート農業で使用中的[e-kakash]

### 通学手段含めた過密解消策を提案しては

**答弁** 保護者との意見交換会では必要な通学手段も話し合う



今後、教育委員会は、福間南小の過密解消策を保護者と意見交換するが、通学手段、校区再編と校区外通学制度等を組み合わせた過密解消策が必要では。その際、過密による弊害(運動場で毎日遊べない等)を押さえることが重要。文科省測定データで過密と児童の体力の関係を調べた。規模の大きい学校の児童の体力が、福岡県平均を下回る傾向がみられた。検証は。過密解消策の意見交換では、素案を説明して意見を聴取したい。



▲過密を解消し、適切な教育環境を

### スマホで決済するふくつペイ事業の目的は

**答弁** 事業者支援とキャッシュレス推進のために商工会が実施



▲事業者支援のためのふくつペイ

事業者支援とキャッシュレス推進のために商工会が実施。ふくつペイの勉強会は単独実施ではなく、年間のスマホ教室の中で高齢者向けに操作説明をすることは可能である。



▲秦 浩 議員

### 校区再編案を示しての意見交換会は

**答弁** 年内に素案を示し、1月に地域への意見交換会を開く予定



▲災害時、昇降口が混雑する恐れも

福間南小の校区再編案が公開されておらず保護者が不安を感じている。校区再編スケジュールが迫るため、年内に素案を示したうえで、意見交換会を開催すべきでは。仮に校区再編を行っても、すぐに教育環境が改善されるわけではない。今後、懸念される防災面や特別教室の不足に対して、どう取り組むのか。



▲中村 恵輔 議員

### スポーツ行政の展望と施策の本気度は

**答弁** 今後、勇気や希望を与える施策が必要という課題を感じた



▲アーチェリー場などの活用でスポーツ施策の充実を

障がい者スポーツにどう取り組んだのか。中学校の部活動は、今後どのような方向性が。また、スポーツ施策の実績と今後は。障がい者スポーツでは、大会開催を目標としていたが実施できなかった。運営には障害福祉部門と連携が必要である。中学校の部活動は、指導者の確保が課題。教職員の負担軽減も急務である。国は地域移行の期間を令和13年度まで延長した。地域クラブの指導者には、市独自のガイドラインを作成する予定。スポーツ施策の実績は、成人祝賀駅伝・ユニースポーツ大会等を開催。共生社会を実現するためにも市長部局と連携して事業を実施したい。



▲中村 清隆 議員

### 東福間口駅前広場の整備と利活用は

**答弁** 駐車場やイベントスペースを設け、にぎわいを創出したい



▲東福間口駅前広場側の駅舎の天井の剥離

東福間駅で予定しているイベントスペースの年間利用者は見込んであるのか。また、駅舎自由通路の天井が剥がれ、鉄骨には埃が堆積している。管理はどうなっているのか。夕陽館は貸与事業者との契約が整い、どのような提案を受けているのか。イベントスペースの利用者数の見込みは立っていない。また、自由通路の天井の一部が雨漏りがあり、防水工事を行った。1階部分の天井塗装の剥離は、令和7年度以降に対応していきたい。夕陽館は、温浴設備の拡大や露天風呂、サウナの施設を計画。館内にはカフェやコミュニティエリアを設け、津屋崎海岸の魅力発信したいとの提案を受けている。



▲榎本 博 議員



### 国基準で過大規模校の図書を増やしては

**答弁** 可能な限りの予算配当ができればと考えている



佐伯 美保 議員

国基準で過大規模校の図書を増やしては、可能な限りの予算配当ができればと考えている。文科省の学校図書館整備5か年計画資料によると、令和6年度に配当した図書予算は726万4000円で、交付税算定に用いる額より少ない。教育委員会としても図書的重要性は認識しているが、可能な限りの予算配当ができればと考えている。

**問** 文科省の学校図書館整備5か年計画資料によると、令和6年度に配当した図書予算は726万4000円で、交付税算定に用いる額より少ない。教育委員会としても図書的重要性は認識しているが、可能な限りの予算配当ができればと考えている。文科省の学校図書館整備5か年計画資料によると、令和6年度に配当した図書予算は726万4000円で、交付税算定に用いる額より少ない。教育委員会としても図書的重要性は認識しているが、可能な限りの予算配当ができればと考えている。



▲文科省の学校図書館整備5か年計画資料

### 市長は市民の声を市政にどう生かしたか

**答弁** 2期目は市政に参画する場やシステムなどの機構を創設



福井 崇郎 議員

市長は、1期目では話のまちづくりを掲げ、市長懇談会や各種団体など市民との意見交換や対話の機会を実施してきた。2期目では市民の声をどのように聴取し、市政に生かしてきたのか伺う。また、意見交換会など対話の機会を市長自らが行うという点も十分できたと思うが、なぜしなかったのか。

**問** 市長は、1期目では話のまちづくりを掲げ、市長懇談会や各種団体など市民との意見交換や対話の機会を実施してきた。2期目では市民の声をどのように聴取し、市政に生かしてきたのか伺う。また、意見交換会など対話の機会を市長自らが行うという点も十分できたと思うが、なぜしなかったのか。



▲執行部自らが市民の声を生かす対話の機会を

### 他にもこんな質問がありました

議員名	その他の質問
秦 浩	給食について 本市の公共施設の今後について
榎本 博	中小企業振興条例について
山本 祐平	はづき公園での見守り事業について

議員名	その他の質問
倉元 敏徳	高齢者の健康維持・増進について
戸田 進一	学童保育所の充実について
石田まなみ	機構改革について
中村 晶代	医療的ケア児への教育環境の整備について
豆田 優子	市有財産の活用について
岩下 豊	ふくつミニバスを含めた市内公共交通等の充実に向けた取り組みについて 福津市教育委員会請願処理規則の一部改正について
尾島 武弘	人材育成基本方針について
佐伯 美保	地域とともにある学校(コミュニティ・スクール)づくりにおける学校施設の安全と防災対策、建設費用等について

**ふんちゃんを探せ！ふんちゃんクイズ**

ヒントは、ページをめくって私を探してね。

- ①今年は何周年でしょうか？
- ②基本条例の特別委員会は何回開催された？
- ③つくば市の義務教育学校で稼働しているスクールバスは何台？

**議会だより 特集の変遷**

市民参加の議会だよりへ

これまで、2ページ構成だった特集を4ページ構成に拡充し、レイアウトや色使いにも工夫を重ね、より市民から評価の声を、おたよりカフェなどにもいただけるようになりました。

▲議会だよりふくつ78号の特集

### 夜間見えづらく危険な横断歩道の対応は

**答弁** 対策として警察に点灯する標識などを提案し、要望したい



▲夜も安全な通学路の整備を

通学路や学校付近の道路で、白線が消えかけている横断歩道や、防犯灯が少ないため日没後に歩行者が見えづらい歩道がある。これらの保全をどのように行うのか。過大規模校緩和策で校区再編を検討中だが、今からでも通学路の安全整備を行うべきか。また、校区外通学制度にスクールバス導入は。通学路の保全是、地域からの要望を含めて、通学路交通安全プログラムで関係機関と協議して対応していく。児童生徒は安全に通学する必要はある。今後関係部局と連携し、安全な通学路整備に努める。校区外通学制度は希望に応える制度。保護者の責任で通っていたら。

**問** 通学路や学校付近の道路で、白線が消えかけている横断歩道や、防犯灯が少ないため日没後に歩行者が見えづらい歩道がある。これらの保全をどのように行うのか。過大規模校緩和策で校区再編を検討中だが、今からでも通学路の安全整備を行うべきか。また、校区外通学制度にスクールバス導入は。通学路の保全是、地域からの要望を含めて、通学路交通安全プログラムで関係機関と協議して対応していく。児童生徒は安全に通学する必要はある。今後関係部局と連携し、安全な通学路整備に努める。校区外通学制度は希望に応える制度。保護者の責任で通っていたら。



石田 まなみ 議員

### 認可保育所等の受け入れ枠は十分なのか

**答弁** 保育士不足が続いており、定員数の受け入れが難しい状況



▲保育の現場を働きやすい環境に

保育士不足が続いており、定員数の受け入れが難しい状況。乳幼児の保護者から、育児休業明けや3歳児の転園入所が難しいとの声がある。市の現状は。また、保育士の離職状況と離職防止の対策は。さらに、他市のような外部コンサルタント派遣などは行っているのか。保育士不足のため、令和6年11月時点で7施設が定員未達の受け入れ人数で、185人分の枠が活用できない状況。新規採用保育士が短期間で退職する状況がある。市は保育士宿舎借り上げ支援事業や大和保育所の公開保育などにより園を支援。昨年度に県の事業で一部の園に社会保険労務士の派遣を受けたが、改善に至っていない。引き続き、県とも協議を行い努力していく。

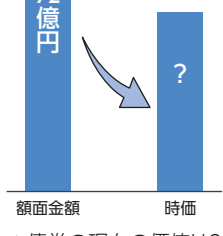
**問** 乳幼児の保護者から、育児休業明けや3歳児の転園入所が難しいとの声がある。市の現状は。また、保育士の離職状況と離職防止の対策は。さらに、他市のような外部コンサルタント派遣などは行っているのか。保育士不足のため、令和6年11月時点で7施設が定員未達の受け入れ人数で、185人分の枠が活用できない状況。新規採用保育士が短期間で退職する状況がある。市は保育士宿舎借り上げ支援事業や大和保育所の公開保育などにより園を支援。昨年度に県の事業で一部の園に社会保険労務士の派遣を受けたが、改善に至っていない。引き続き、県とも協議を行い努力していく。



中村 晶代 議員

### 基金の7割を72億円の債券に、異常では

**答弁** 満期保有でなく売却目的で購入、責任は決裁者市長にある



満期保有でなく売却目的で購入、責任は決裁者市長にある。基金の7割を72億円の債券に、異常では。現在の債券の価値は？含み損はいくらになるか。債券比率を高めて運用益を求めたが、社会情勢が変化した。組織で判断結果は市長が責任を負う。

**問** 市では、平成30年度から債券の売却収益を目指す方向に基金運用の方針を転換した。現在、市が所有する全ての債券は売却損が発生することが決算審査で判明した。債券の購入時期はいつか。今後の資金需要が大きい。売却するの。異常な基金運用の責任は市長にあるのか。現有債券は、令和元年8月から令和2年6月に購入した30年満期の国債である。現在は全て時価が下がり、売却すれば売却損が生じる。今後は必要に応じて、売却損が単年度の基金運用益に収まる範囲で現金化する。債券比率を高めて運用益を求めたが、社会情勢が変化した。組織で判断結果は市長が責任を負う。



豆田 優子 議員

### 子ども医療費助成を18歳まで拡大しては

**答弁** 現段階で高校生までの助成拡大は財政運営上厳しい状況



▲高校生まで子ども医療費の助成拡大を

現段階で高校生までの助成拡大は財政運営上厳しい状況。子どもたちが安心して医療を受けられるように子ども医療費助成制度を整えるべきと考えるが、国の制度改革を待たずに本市独自で助成対象を18歳まで拡大すべきでは。本市の子ども医療費助成は中学生までを対象に実施している。近隣でも古賀市、宗像市など全国的に18歳までを助成対象にする自治体が増えている。国の政策にも影響を与えている。引き続き、市長会等を通じて国に要望していく。

**問** 子どもたちが家庭環境に左右されず安心して医療を受けられるようにする事は、行政の責務である。現在、多くの地方自治体で助成対象を18歳までに拡大している。本来は、国が全国どこでも子どもたちが安心して医療を受けられるように子ども医療費助成制度を整えるべきと考えるが、国の制度改革を待たずに本市独自で助成対象を18歳まで拡大すべきでは。本市の子ども医療費助成は中学生までを対象に実施している。近隣でも古賀市、宗像市など全国的に18歳までを助成対象にする自治体が増えている。国の政策にも影響を与えている。引き続き、市長会等を通じて国に要望していく。



岩下 豊 議員

### 無許可で放置されている車両への対応は

**答弁** 土地所有者や警察等と連携し、業者に車両撤去を求めていく



▲土地所有者の許可なく放置されている車両

土地所有者や警察等と連携し、業者に車両撤去を求めていく。勝浦で廃車を取り扱っている外国人の業者が、農地の所有者の承諾もなく、多くの車両を何年も放置している。農道や森林管理署が管理している防風保安林にも放置している。土地所有者が、再三、撤去を求めても解決できていない。土地所有者は市に業者への対応を求めている。このことについて市の考えを伺う。土地所有者の許可もなく車両を放置していることは不法投棄や不法占有にあたり、違法な行為である。現在、市と警察で業者に対して車両の撤去指導を行っている。今後は土地所有者と必要に応じて連絡を取り、市の関係部局と協議し、警察や森林管理署等と共に粘り強く対応していく。

**問** 勝浦で廃車を取り扱っている外国人の業者が、農地の所有者の承諾もなく、多くの車両を何年も放置している。農道や森林管理署が管理している防風保安林にも放置している。土地所有者が、再三、撤去を求めても解決できていない。土地所有者は市に業者への対応を求めている。このことについて市の考えを伺う。土地所有者の許可もなく車両を放置していることは不法投棄や不法占有にあたり、違法な行為である。現在、市と警察で業者に対して車両の撤去指導を行っている。今後は土地所有者と必要に応じて連絡を取り、市の関係部局と協議し、警察や森林管理署等と共に粘り強く対応していく。



尾島 武弘 議員